



# 週報

Rotary  
東京本郷ロータリークラブ 

2019-2020 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーは世界をつなぐ」  
東京本郷ロータリークラブテーマ 「一人一人との対話で友好拡大を！」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: [office@t-hongo-rc.gr.jp](mailto:office@t-hongo-rc.gr.jp)

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 井田吉則 副会長: 埴 弘道 会長エレクト: 松岡 浩 幹事: 飯塚貞子 会報委員長: 三浦謙吾

2 月 19 日 第 1346 回例会

2020 年 2 月 19 日発行 (No. 1292)

## 本日の卓話

「イニシエーション・スピーチ」

土井康嗣 会員

山崎 薫 会員

\* 2 月 26 日は休会となります。

## 次回の卓話 (3 月 4 日)

「弁護士が教える  
経営者のための女性との会話術」

弁護士法人フラクタル法律事務所

弁護士 堀井 亜生 様

紹介者 山路敏之 会員

## 2 月 5 日 第 1345 回例会報告

### 卓話

「キュータの知らない消防の世界」

※「キュータ」とは東京消防庁の広報マスコットキャラクターの名前

本郷消防署 署長 平本 隆司 様

紹介者 深澤壽一 会員

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をされる平本隆司様

- 例会時に提供されるランチ等の食品ロス削減について  
総支配人松田氏より、今後の例会（出席者・メニュー等）データをとって再考し、再度ご提案頂くこととした。当クラブにおいても、この問題に取り組むこととし、松岡年度へ申し送り、引き続きご検討頂くこととした。
- 職業分類の変更について  
・秋本康彦会員大分類: 5 小分類: クラシックカーコンサルタントに変更承認された。
- 次年度の米山奨学生受け入れについて  
次年度米山奨学生の受け入れは、周年行事と重なる為見送ることとした。
- ロータリー財団への今年度寄付目標について  
寄付目標を会員へ周知し、ご理解頂くこと。具体的な目的や用途を明確にすべきであるという意見があった。
- 例会場で使用する PC を、埴副会長からご寄贈を頂きました。
- 次年度地区出向役員以下の通り、承認された。  
・地区立法案検討委員河合洋  
・地区社会奉仕委員松下和正  
・地区ローターアクト委員田上睦深  
・地区青少年交換委員飯塚貞子  
・地区職場・就業体験委員熊井寛  
・地区補助金委員長星野大記

※一部抜粋

## 理事会報告

- 本間正巳会員からの出席規定の免除適用願いについて承認された。

## 会長報告

1. 1月31日に行われた「職場体験発表会」において文京区教育委員会より、長年の功績にたいし感謝状をいただきましたので報告いたします。
2. 東京ロータリークラブ会員 熊平氏 より「抜粋のつづり」を恵贈いただきましたので、メールボックスへ配布いたしました。
3. 米山奨学生 金 玄郁さんへ2月分の奨学金をお渡しします。

## 幹事報告

1. 2月のロータリーレートは1ドル=110円となります。
2. 2月4日クラブ奉仕委員長報告会が開催され、松岡会員が出席されました。
3. 来週12日は休会となりますので、ご留意の程お願い致します。

## 出席

会員数：54名 出席免除者数：5名 出席数：39名  
欠席数：10名 出席率：79.59%  
1月22日修正後出席率：85.71%  
クラブゲスト：平本隆司様（卓話講師）  
金 玄郁君（米山奨学生）

## ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

### ニコニコBOX

- \* 平本隆司様（卓話講師）  
卓話者の平本様よりお車代をニコニコへといただきました。
- \* 星野大記会員  
先日の職場体験発表会にて、コーディネーターの代行として松岡さん、すばらしい進行でした！ありがとうございました！
- \* 古関伸一会員  
妻の誕生日祝いありがとうございます。
- \* 飯田美里会員  
誕生日祝い、ありがとうございます。
- \* 原田睦巳会員  
妻の誕生日祝いと特別記念祝いのダブルです。ありがとうございました。



ニコニコBOX  
累計

46,369円  
641,612円

## 東京上野RC 「第34回奏楽堂コンサート」のご案内

東京上野ロータリークラブより「第34回奏楽堂コンサート」のご案内をいただきました。  
参加ご希望の方は、クラブ事務局へご連絡下さい

### 記

1. 日時 2020年3月12日（木）  
16時開演（15:30開場、17:15終演予定）
2. 場所 重要文化財  
『台東区 旧東京音楽学校 奏楽堂』
3. 演題 『パイプオルガン、チェンバロ、古楽器の魅力』
4. 出演者 東京藝術大学音楽学部学生および卒業生
5. 懇親会 終演後、上野東天紅にて18時より  
例会および懇親会

以上

## ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

### 「未来の君主と会う」

ロータリーweb (<https://www.rotary.org/ja/>)  
「ニュース・特集記事」より

昨年春、85歳になられた日本の昭仁天皇（現上皇）が退位されたとき、40年前に皇居で謁見したときの記憶がよみがえってきた。

1978年4月、私はロータリーが派遣する6人の研究グループ交換に参加した。その後フィラデルフィア地域にある私たちの地区に日本から代表団が派遣される予定になっていた。日本でのロータリーの地位は高く、6週間の滞在中、私たちは一流のもてなしを受けた：宿泊は四つ星ホテル、豪華な食事、フロントフェンダーに小さな旗のついた黒いリムジンでの移動。農地や工場、東京の築地魚市場（当時は世界最大）、国会議事堂を見学した。昔ながらの船で江戸川下りをしたときには、そこで釣った魚をさばき、油で揚げた料理が昼食だった。最高裁判所では、判事が自分の法服を喜んで私たちに着せてくれた。相撲部屋では、ビールと魚2匹、ワカメ、ハマチの刺身、出汁、豆腐、餅、麺という典型的な力士の昼食をいただいた。一番思い出深い遠足は、東京からの電車で始まった。集落や田園を走り抜け、山の近くまで来たところで、3台の黒タクに分乗。険しく曲がりくねった道を上った後、ケーブルカーに乗り換えて広大な杉の森を越え、青々とした芦ノ湖で下車。17世紀の船を模した遊覧船で湖を渡った。翌朝の日の出時には、雪を冠した富士山の、息を飲むような情景にうっとりした。

当時はまだ皇太子だった昭仁殿下（父上であった昭和天皇はその後11年間君臨された）との待望の謁見は、皇居内の松材パネルがほどこされた部屋で行われた。皇太子が入室されると、ロータリーのホストの方々が恭しくお辞儀をしたので、皇室マナーの速習講座のごとく、私たちもそれに倣った。昭仁殿下は無地のブルーグレイのスーツと白いシャツ、濃い色のネクタイ姿。英語は流暢だが言葉を慎重に選びながら、穏やかな口調でお話しになった。当時

私の日記にはこう書かれている。「私たちが年齢順に紹介されると、私たち一人ひとりの顔をまっすぐ、ひるまずに見据えられた」

私たちは、漆黒塗のテーブル2台の近くにあった赤い椅子に腰かけた。灰皿が4つ、皇室のマークの入ったマッチ箱、そして銀のトレイの上にたばこのケースが置かれていたが、謁見中に喫煙した人がいたかどうかは覚えていない。対話をしている間、召使いが菓子と緑茶をお盆で運んできたが、その度に皇太子殿下に直接顔を向けることなくお辞儀をした。日本の印象について殿下に尋ねられたので、日本人の礼儀正しさ、東京の清潔さ、見学した歴史スポット、食した日本食について話した。日記にはこう記されている。「皇太子は、終始ほとんど表情を変えることがなかった」

私たちがフィラデルフィアから来たことをご存知だった皇太子殿下は、自身が19歳だった1953年にフィラデルフィアを訪問された時の思い出話をして

くださった。日本人にとっての主な懸念は何だと思われるかと私が尋ねると、伝統、歴史、文化を保存しつつ、それを現代のトレンドやテクノロジーと結びつけることだとお答えになられた。

互いの幸運を祈り、さらにお辞儀をした後で、謁見は終了した。この対話にテーマがあったとしたら、それは現代において古来の慣習を維持すること、つまり、昭仁上皇が繰り返しお使いになった「調和」という言葉がふさわしいだろう。

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付 4名 149,800円  
米山特別寄付 1名 100,000円

のご寄付をいただきました。  
ありがとうございました。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

## 「文京区 中学生職場体験発表会」

2020年1月31日（金）  
於：文京シビックセンター 小ホール

令和2年1月31日（金）14時から文京シビックホール小ホールにて「文京区中学生 職場体験発表会」が行われました。文京区立の中学生の健全な就労観を育むことを目的に、文京区と東京本郷ロータリークラブが長年に渡り取り組んでまいりました。ご案内のとおり、今回の開催が最後になります。職場体験発表会は来年度以降開かれませんが、文京区の中学生の職場体験自体は今後も継続されます。従いまして、文京区から今後も受け入れ事業所として協力を要請されることがあると思われまますのでその節はよろしくおねがいたします。いずれにしましても、当日は文京区より東京本郷ロータリークラブの功績に対して感謝状をいただき、一つの区切りがついた形になりました。「青少年の健全育成」の具体的取り組みとしてきた事業の一つが終結し、次年度クラブ創立30周年を迎える当クラブとしては、「青少年の健全育成」というクラブアイデンティの中身を一旦立ち止まって熟考する節目にきたといえるかもしれません。

今回も選別された3つの区立中学校（文京区立第十中学校、文京区立文林中学校、文京区立茗台中学校）が実践発表を行いました。各校発表方法に工夫を凝らしよくまとまっていました。恒例の「意見交換」では各校から2名が代表生徒として舞台に上がり、コーディネーターを務める東京本郷ロータリークラブの会員が発する職場体験に関する質問に答える形で進行しました。受け入れ事業所の社員から褒められたり、お客さんから感謝されたりする実体験をとおして働く事の意味を考える契機になったようです。最後になりましたが、受け入れ事業所として本事業にご理解ご協力を頂戴した会員の皆様に感謝申し上げます。

（記 松岡浩）

